公開資料の道順（最新版・2026年11月時点）

当社が公開してきた7本を、場面ごとに「どれから・誰が・どのくらいで」の1枚にまとめました。全部やる必要はありません。自社の場面の1行から始めてください。

登録申請の手引（2026年11月末頃の予定）が出れば、改めます。

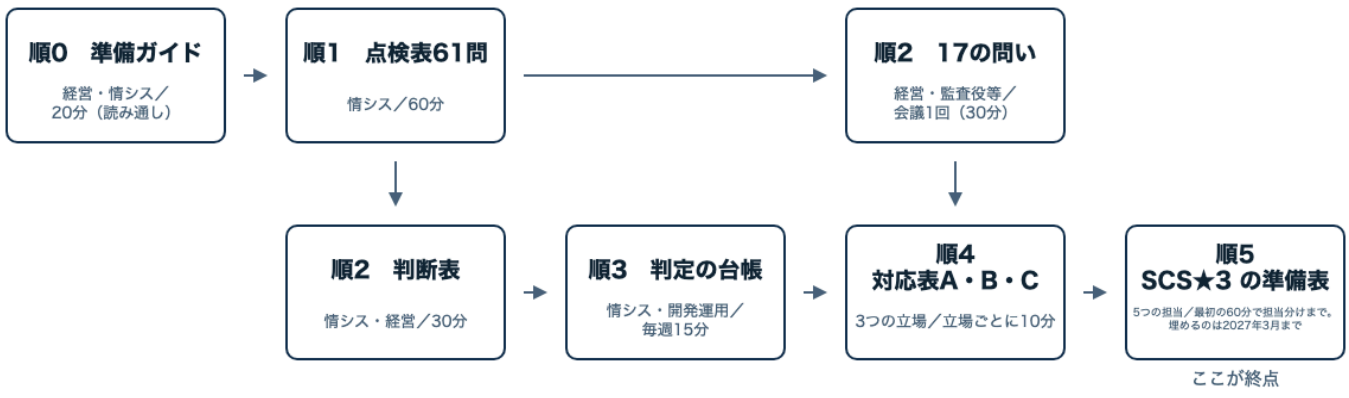
道順（順に並べています）

順	場面	使う物	誰が	読む時間（当社の見込み）	次に開く
0	制度を先に知りたい	SCS 評価制度対応 現在地把握ガイド	経営・情シス	20分（読み通し）	順1
1	国の注意喚起に、まず自社がどこまでできているかを答えたい	国の注意喚起 対応点検表（2026年10月版）	情シス	60分	順2（17の問い か 判断表）
2	取締役会・監査役等で執行側に聞きたい	取締役・監査等委員が執行側に聞く17の問い	経営・監査役等	会議1回（30分）	順4（対応表）
2	重大な脆弱性が公表された日に、止めるか続けるかを決めたい	重大な脆弱性が公表された日の判断表	情シス・経営	30分	順3
3	見つけた脆弱性を、期限を決めて回したい	判定の台帳と組む手順	情シス・開発運用	毎週15分	順4（対応表）
4	11月5日・6日の国の2文書と監査役協会の調査を、立場ごとに今ある資料のどこで確かめるか知りたい	国の文書と当社資料の対応表	3つの立場	立場ごとに10分	順5
5	SCS★3 の申請に向けて、何を用意し誰が決めるか（対応するか）を埋めたい	SCS★3 の評価基準81の準備表	5つの担当	最初の60分で担当分けまで。埋めるのは2027年3月まで	（終点）

実測があるのは、判断表の30分と、判定の台帳の毎週の2つだけです。ほかは当社の見込みです。

7本はどれも登録不要で、一覧（www.securoi.com/downloads）から同じ名前で開けます。

道順の図



図では、資料名と読む時間を短く書いています。正式な名前と読む時間は、上の表をご覧ください。

順2は2本あります。会議で聞くのが先か、脆弱性が出た日の判断が先かで、どちらから開いても構いません。どちらも順4に合流します。

道順の外にあるもの

次の7本は、この道順には載せていません。使わないという意味ではありません。入口が違うだけです。

物	なぜ道順の外か
委託先に聞く7つの問い	点検表に同梱で、独立の入口ではない
AI に仕事を任せるときの、人の側の決まり	AI の使い方の話で、SCS★3 の評価基準の外
AI による攻撃も、通る道は同じ	同上。攻撃の話で、申請の準備ではない
最初の90日の実行地図	IPO 準備の入口で、道順の起点が違う
IT統制整備標準ロードマップ	同上
経営サマリーの見本	資料ではなくサービスの見本
四半期の推移の見本	同上

出典

- 国の注意喚起（2026年10月・8機関17項目）。文書名は点検表（2026年10月版）の出典欄に載せています。
- サイバー攻撃への警戒及び対策の強化について（国家サイバー統括室・2026年11月5日（木））。
- サイバーセキュリティ緊急対策パッケージ（サイバーセキュリティに関する関係閣僚会議・2026年11月6日（金）に策定）。
- サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度 要求事項・評価基準 Ver.1.1（独立行政法人情報処理推進機構・2026年10月28日（水））。

各資料の題と公開日は、公開している資料の一覧（www.securoi.com/downloads）に載せています。この1枚の数は、その一覧と各資料の実物から機械で数えました。

更新日は2026年11月12日（木）です。登録申請の手引が出れば、この1枚も改めます。
